

令和6年度 1歳児 年間指導計画

保育目標 ・安心できる保育者との関係の中で、自立心を育む。 ・したいこと、してほしいことを言葉やしぐさで表す。

| | | 1期（4～5月） | 2期（6月～9月） | 3期（10月～12月） | 4期（1月～3月） |
|-------------------|--|--|---|---|--|
| 子どもの姿 | ねらい | 園生活に慣れ、生活リズムが安定してくる。好きな遊びを見つけ、楽しんで遊ぶ姿が増えてくる。保育者に甘える姿もある。 | 自分の思いを声や仕草ではっきりと伝えるようになる。少しずつ「自分で」と、身の回りのことをやろうとする。 | 好きな遊びにじっくりと取り組んだり、活発に体を動かして遊んだりするようになる。言葉が発達してくる。 | 友達への興味が広がり、言葉でやりとりをしたり、ごっこ遊びをしたりする。トラブルもあるが、保育者の仲立ちで楽しむ。 |
| | | 新しい環境に慣れ、安心して過ごす。保育者に見守られながら、好きな遊びを楽しむ。 | 自分でしようとする気持ちを持つ。夏の自然に触れる。 | 充実して一人遊びに取り組む。体を動かすことを楽しむ。 | 身の回りの簡単なことを自分でしようとする。自分の気持ちを表現する。 |
| 内容 | 養護 | <ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握し、快適に生活できるようにする。 気持ちや欲求を十分に受け止めながら、信頼関係を築く。 | <ul style="list-style-type: none"> 夏の健康を十分に配慮しながら、水分補給や休息などを取り入れ、快適に過ごせるようにする。 気持ちを受け止めながら、安心して気持ちを表せるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 季節の変わり目による体調の変化に留意しながら、健康に過ごせるようにする。 薄着の習慣をつけ、丈夫に過ごせるようにする。 保育者や友だちとの関わりの中で気持ちを表し、受け止めてもらう経験ができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 体調に留意しながら、寒い時期を健康に過ごせるようにする。 安心できる環境の中で興味のあるものに挑戦する。 |
| | 教育 | <ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた雰囲気の中で、安心して眠る。 汚れたり汗をかいたりしたら着替えをして、清潔であることの心地よさを感じる。 散歩に行き、たくさん歩く。 保育者と一緒に過ごすことで、親しみを感じる。 好きな遊びを見つけて楽しむ。 春の自然に触れながら、戸外遊びを十分に楽しむ。 自分の物や場所が分かる。 絵本に興味を持ち、保育者に読んでもらうことを楽しむ。 保育者と一緒に、手遊びや季節の歌を楽しむ。 様々な素材の物に触れ、表現を楽しむ。 指先を使った遊びを楽しむ。（簡単なひも通し、シールをはがす、貼るなど） | <ul style="list-style-type: none"> 便座に座ってみようとする。 保育者に援助されながら、できるところは自分でやろうとする。（ズボンの着脱、おもちゃの片付けなど） 保育者と一緒に手洗いをする。 保育者に仲立ちをしてもらいながら、友だちと同じ遊びを楽しむ。 保育者と一緒にコーナーの遊びを楽しむ。 シャワーや水遊びを楽しむ。 季節の植物や、虫に触れる。 絵の具を使ったダイナミックな遊びを楽しむ。 生活に必要な簡単な言葉を聞き取り、理解する。 リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 ひねる、たたく、つまむ、ころがすなど、手指を使った遊びを楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> トイレに行き、便座に座ることに慣れる。 簡単な身の回りのことを自分でしようとする。（靴の着脱、靴下をはく、ズボンの着脱など） 鼻水が出たら知らせ、きれいにしてもらって気持ちよさを感じる。 自分の意志で体を動かすことのできる喜びを味わう。遊具やボールなどを使って、全身を動かして遊ぶ。 保育者に仲立ちをしてもらいながら、遊びの中で簡単なやりとりをする。 簡単な言葉や仕草で、自分の気持ちを伝えようとする。 遊びの中で、大きさや量の違いに気づく。 秋の自然に触れ、遊んだり製作したりして楽しむ。 簡単な形のパズルをする。 絵の具やタンポなど、様々な表現方法を知り、興味を持って楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> 簡単な身の回りのことを自分でする。（上着に手を入れる、靴を着脱、手洗いなど） うがいをしようとする。 登る、降りる、走る、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張るなど、全身を使った遊びを楽しむ。 保育者の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方に気づく。 自分の気持ちの伝え方を知る。 積み木を積んだり、並べたりして遊ぶ。 正月遊びや、冬ならではの遊びを楽しむ。 ひも通しなど、少し細かい物を使った遊びをし、達成感を得る。 |
| | 食育 | 楽しい雰囲気の中で、意欲的に食べる。（手づかみやスプーンで） | 保育者や友だちと一緒に、食事の挨拶をする。 | スプーンを上手に使い、食べられるようになる。（上手握り） | 自分から食事の支度をしようとし、挨拶をして意欲的に食べる。 |
| 構環境 | 一人一人が落ち着いて遊べる室内環境作りをする。食事、午睡をゆったりとできるよう設定する。 | 無理なく水に触れて遊べるよう、場所や遊具の設定をする。 | 一人遊びの保障ができるようにする。全身運動のできる遊び、遊具の設定をする。 | 自分で身の回りのことがしやすいよう、環境を整える。 | |
| の保 援 助 者 | 子ども一人一人の体の状態、機嫌、食欲などを十分に観察し、適切に対応する。着脱や排泄は、できるだけ一人ずつ丁寧にみる。 | 子ども同士のトラブルもあるが、自己主張を尊重しながら保育者の語りかけなどでお互いの存在に気づくよう配慮していく。 | 活発に動き回るようになるので、その欲求を十分に満たせるよう設定するとともに、静と動のメリハリをつける。 | 自分でやりたい気持ちを受け止めながら、ゆったりと見守り、必要に応じて援助をする。 | |